



入学式 4月6日(水)



第 118 号  
 編集発行  
 愛知県立大府東高等学校 P T A  
 令和 4 年 7 月 13 日 発行

子どもと共に  
 成長する一年に



P T A 会長  
 久永和枝

五月十六日の P T A 総会を経て令和四年度の会長を務めさせて頂くことになりました久永和枝です。この間、学校行事が制限される中、今年度は手探りでの活動となりそうです。役員一同、今できることを模索し、保護者や、学校の先生方のお力添えを頂きながら、運営してまいりますので皆様のご協力をお願い致します。

先日、P T A 指導者研修会にて、N P O 法人東京レインボープライド共同代表理事の杉山文野氏を講師とし、「クラスに一人は必ずいる!? ～セクシユアル・マイノリティの子どもたち～」というテーマで講演を聞く機会がありました。

セクシユアル・マイノリティの人口は、左利きの人の割合と同じくらい身近な存在です。多様性の学習については、大府東高校でも取り入れており、今の子どもたちにとっては自然な流れとなりつつあります。そんな中、多様性、その子らしさを認め、ひとり一人を大切にしてい

ことを学ぶ必要があるのは本当は大人ではないか、と研修を受けて感じました。P T A としても、様々な形の家族を自然に受け入れ、共に学校や子どもたちのために活動できる存在でありたいと思いました。

「生涯にわたって人間としての成長と発達を続けていく基礎となる力をあらゆる教育の場を通して育成する。」大府東高校の教育目標です。私も子どもと共に成長していく一年にしていけたらと思います。

最後に P T A に関わるご意見等ありましたら気軽に声をかけて頂き、皆様と共により良い環境で学べる学校づくりに努めてまいりたいと思います。



# ごあいさつ



校長  
**磯村幸彦**

保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

令和四年度は、二四〇名の新入生を迎えてスタートし、早、三か月余りが経ちました。コロナ禍での学校生活も三年目になり、withコロナの中で、様々な感染予防対策を講じ、工夫をしながら学校生活に取り組んでいます。学校の様子をいくつかお伝えいたします。

本校は、今年度で開校四十周年を迎えます。校内の木々も見事に成長し、卒業生のお子様が入学し活躍するなど、四十年という時間の長さを感じます。十一月十一日金曜日に、本校体育館にて四十周年記念式典が行われます。記念講演として画家でご活躍されている二回生の小島可奈子様にお話をさせていただきます。一万人を超す卒業生の方が繋いできた糧の意味を考える機会にしたいと思えます。

部活動については、総体予選が行われました。保護者の方の参観・応援にはまだ規制がありますが、どの種目も開催されました。知多地区予選では、サッ

カー部が優勝、陸上競技部、バドミントン部が県大会に出場しました。県大会に出場できていない部活動の生徒たちも、大府東高校の代表として堂々と頑張ってくれました。惜しくも予選で敗退し、悔し涙を流す生徒もたくさん目にしました。部活動にひたむきに取り組み、涙が出るほど悔しい経験をするには大きな意味と価値があると思います。部活動を通して生徒たちは多くのことを学び、大きく成長したことを思います。その活動を支え、応援して下さっている保護者の皆様に心より感謝を申し上げます。

学校行事は、できる限り通常の形で行えるように考えています。六月の球技大会では、各種目で全校生徒がはつらつと活躍してくれました。昨年度は実施できなかった文化祭も九月上旬に行う予定で、体育館発表や教室での企画など実施の可能性を追求しています。九月下旬には体育祭、十月には二年生の修学旅行が計画されています。昨年度に引き続き、沖繩に行けることを願っています。

全く先の読めない時代ではあります。今まで通りや例年通りは通用しません。アンテナを高くし、情報をキャッチしながら自ら考え、周りと上手く協力して道を切り拓いていく力が求められています。子どもたちにそのような力をつけてもらうために、まず、我々大人が弱気にならず、しぶとく、前向きに範を示していかなければいけないと思っています。

# PTA活動

去る五月十六日(月)、本校体育館においてPTA総会を開催いたしました。当日の出席者は一一〇名(委任状五九六)でした。

総会は、森会長の挨拶に始まり、令和三年度事業報告、会計決算、監査報告が行われました。

続いて、令和四年度役員改選が行われ承認され、久永新会長の挨拶がありました。そして、新役員の方から令和四年度事業計画、会計予算案が提示され、承認されました。

最後に、PTA活動にご尽力いただきました、森会長をはじめとする九名の役員の方々に感謝状を贈呈しました。また、小崎顧問に愛知県公立高等学校PTA連合会より感謝状が贈呈され、総会は終了しました。

例年、総会終了後は、学年ごとに会場を設定し、学年懇談会を行っておりましたが、本年度も昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症予防のため中止しました。

- ② PTA役員・支部委員合同会議
  - 第一回 六月十日(金)
  - 第二回 一月二十七日(金)
- ③ PTA委員会
  - 第一回 六月十日(金)
  - 第二回 三月二十四日(金)

- 実践活動
  - 進路指導委員会
  - 文化祭でのカフェ模擬店
  - 生徒指導委員会
  - 職員合同校外指導(一回)
  - 職員合同交通指導(三回)
  - 環境整備委員会
  - マリーゴールドなどの植栽(年二回)
  - 総務委員会
  - 文化祭での駄菓子屋模擬店
  - 国際交流委員会
  - 文化祭での展示ブース
  - 文化委員会

- 3 研修会・大会等
  - ① 知多地区高P連協議会 今年度中止
  - ② PTA指導者研修会 五月二十七日(金)
  - ③ 東海地区高P連愛知大会 六月十七日(金)
  - ④ 全国高P連石川大会 八月二十五日(木)・二十六日(金)
  - ⑤ 知多地区高P連研究集会 十月十一日(火)

- 4 PTA会報『冬青』発行(三回)
  - 第百十八号 七月十三日(水)
  - 第百十九号 十二月十九日(月)
  - 第百二十号 三月三日(金)

## 令和四年度 事業計画

- 1 PTA総会 五月十六日(月)
- 2 PTA役員会・支部委員会・委員会等
- ① PTA役員会
  - 第一回 六月十日(金)
  - 第二回 九月十六日(金)
  - 第三回 一月二十七日(金)
  - 第四回 三月二十四日(金)

東海市芸術劇場

令和 4 年度 P T A 常任役員および委員会

役職名	氏名	支部・委員会
会長	久永和枝	大府・全委員会総括
副会長	伊藤友佳子	名南東・委員会総括
副会長	新田直美	名南東・委員会総括
書記	石田久美	三河南・総務委員
書記	平山詩織	大府北・国際交流委員

役職名	氏名	支部・委員会
会計	新實千賀子	大府・文化委員
会計	黒田薫	三河・生徒指導委員長
監査	駒田恵子	知多・環境整備委員
監査	平尾正利	大府西南・生徒指導委員
顧問	森正寛	大府西・全委員会総括

令和 4 年度 P T A 支部役員および委員会

三河支部	氏名	委員会
支部長	黒田薫	生徒指導委員長
副支部長	高木美穂	文化副委員長
支部委員	石田久美	総務委員
支部委員	加藤友洋	進路指導委員
支部委員	菅野淑子	環境整備委員
支部委員	水波絵美	生徒指導委員
支部委員	原一恵	総務委員
支部委員	豊島恵美子	環境整備委員
支部委員	小野瑞穂	国際交流委員
支部委員	木挽奈保美	総務委員
支部委員	波多野由美子	文化委員
支部委員	小林美也子	生徒指導委員

知多支部	氏名	委員会
支部長	澤田人美	総務委員長
副支部長	近藤桂	進路指導副委員長
支部委員	粉山瑞穂	文化委員
支部委員	大橋千香子	国際交流委員
支部委員	駒田恵子	環境整備委員
支部委員	長谷川典子	進路指導委員

大府北支部	氏名	委員会
支部長	矢野貴子	環境整備委員長
副支部長	中村陽子	国際交流副委員長
支部委員	平山詩織	国際交流委員
支部委員	奈木野亜聖	総務委員
支部委員	小澤由美	進路指導委員
支部委員	伊藤弥生	生徒指導委員
支部委員	古宮洋子	環境整備委員

名南東支部	氏名	委員会
支部長	福永幸恵	国際交流委員長
副支部長	永井理誉	環境整備副委員長
支部委員	相羽恵子	生徒指導委員
支部委員	近藤麻子	総務委員
支部委員	坂井里紗	文化委員
支部委員	大友知子	進路指導委員

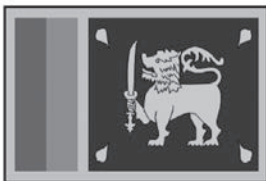
大府西南支部	氏名	委員会
支部長	中尾恵梨子	文化委員長
副支部長	三浦明子	総務副委員長
支部委員	秋岡都	文化委員
支部委員	渡邊のり子	進路指導委員
支部委員	大塚友紀乃	文化委員
支部委員	川上幸弘	進路指導委員
支部委員	岩切志津恵	国際交流委員
支部委員	平尾正利	生徒指導委員

大府支部	氏名	委員会
支部長	濱島郁恵	進路指導委員長
副支部長	成田町子	生徒指導副委員長
支部委員	新實千賀子	文化委員
支部委員	岩田美咲子	国際交流委員
支部委員	土屋真由子	環境整備委員
支部委員	岡留美	環境整備委員
支部委員	牛田優	総務委員



アジア架け橋プロジェクトの留学生がやってきます

7月から来年の2月末までの予定で、インドネシアとスリランカから男子生徒2名が本校に留学生としてやってきます。それぞれ優秀な生徒で、日本の言葉、文化にとっても興味をもっています。様々な場面で交流し、生徒の皆さんが彼らからも学ぶことができることを期待しています。



FULL NAME in katakana	ストウキーマ ムダリゲー ルシル サトルワン ムダリゲー
-----------------------	------------------------------

FULL NAME in katakana	ムハツマヅラフィアルウィ
-----------------------	--------------

Self-introduction in Japanese (5 - 10 sentences)	はじめまして。わたしは ルシル サトルワンです。わたしは じゅうろくさいです。スリランカに すんでいます。わたしの しゅみは 長くてを あつめることと 本をよむことです。わたしは 日本が だいすきなので 日本に いきたいです。わたしの いちはん 好きな かみは りかです。そして かがくしやに なりたいです。どうぞよろしく おねがいます。
--	---

Self-introduction in Japanese (5 - 10 sentences)	はじめまして。私の名前はムハツマヅラフィアルウィです。私の学校はマタラム第一高校の一年生です。私の誕生日は十二月五日。今、私は十五才です。私の趣味は料理です。よろしくおねがいます。
--	--

## 遠足の感想

一年三組 添谷 優翔

大府東高校に入学し、一カ月半が経ちました。新型コロナウイルスの影響で遠足も行けるか行けないか分からない状況でしたが、行けることを期待してクラスや学年の皆と一緒に準備を進めてきました。

当日は雨の予報でしたが、リトルワールドに到着する頃には晴れており、僕は学校生活で皆がルールをしっかり守っているの、晴れたのかなと思いました。

学校生活がスタートし、まだ日が浅いので、遠足を通じても友達との仲が深められるかは不安でした。しかし、友達と一緒に園内を行動してみると、「まず園内を一周しようか」や「どこでご飯食べようか」など、自然に会話をする事ができました。いつもと違う環境だったこともあり、普段話さないような会話も多くなり、仲が深まったと思いました。

帰りのバスでは、一緒に回らなかった友達とも「どんなお土産買ったの」とか「どんなご飯食べたの」など会話が弾み、クラスの仲が深まったと感じました。

今回の遠足は、大府東高校の制服を着た初めての校外学習でした。感染症対策をした上で遠足のルールをしっかり守って、大府東高生として行動することができたと思います。とても良い思い出ができました。



## 四年ぶりの遠足

一年六組 阿部 遊生

僕はリトルワールドに行き、日本とは違った外国の文化などを知ることができました。また、入学してから一ヶ月が経ち、初めての行事でたくさんの人と仲を深めることが出来ました。そして、この遠足で培った仲を他の球技大会や体育祭などの行事などな活かして一致団結していきたくと思いました。小学校の頃にもリトルワールドに遠足で行ったことがありますが、その時は事前に調べ学習をしてから計画を立てて行っていました。しかし、高校一年生になって受験を乗り切り身につけた知識である程度行動が出来ることを知りました。「あそこの国と言えばチーズだよ」などみんなでそういった話を共有し合いながら行きたい所をその場で決めました。こういった所に小学校から高校への成長を感じました。

女子は民族衣装を着て男子は食べ物しか目はありませんでした。トルコアイスがやはり人気で行列ができていました。また、みんなでマカロンを買ったりジェラートを食べたり、たくさんの人と写真を撮ったりと、とても充実していました。そして、たくさんの方が時間を気にしながら行動をしていてすごく感じました。五分前集合は当たり前、そこからどう動くかを意識して行動することが出来ました。このことをこれからの集団行動にも活かせばいいと思いました。

遠足で友情、協力、信頼、行動、多くのことを学ぶことができました。このことを調査や行事などに活かして頑張りたいです。

## 非日常感を味わう

三年三組 村井 綾奈

今回、私たちは西日本有数の絶叫マシンの台数を誇るナガシマスパーランドを訪れた。アトラクションの数は五〇以上あり、ローラーコースターも総数で日本一に輝いている。そんな数あるアトラクションの中で特に印象に残っているものが二つある。

一つはナガシマの二大名物の一つ「白鯨」である。乗り終わった後の率直な感想を一言で表すとしたら「体が吹っ飛ばされそうになった」だ。スチールドラゴン2000などと違い、高低差はないものの、ものすごい勢いでコースターが駆けていくので、カーブを曲がるたびに体ごと飛んでいきそうになる。迫力満点で面白かったが、少し恐怖を感じたことは否めない。

もう一つは「アクロバット」である。体がつ伏せの状態でコースターが駆け抜けていくのだが、地面すれすれを通過するときの迫力や、水辺の近くを通過するときに水しぶきがある爽快感があり、それがとても楽しく、気持ちいい。乗り終わった後に「もう一度乗りたい」と思えるほどのアトラクションが気に入った。

また、ナガシマにはオリジナルグッズが販売されているお土産屋や大きなアウトレットパークがあるのも大きな特徴だ。友達と話しながらお土産を選ぶほど楽しいものはない。とても充実した一時を過ごすことができた。

私たちは今年受験生で学校をはじめ、いろいろな場で多くの知識を得なくてはならない。だが、授業を受けているだけでは得られないこういった非日常感を味わって息抜きするのも大切だというのもまぎれもない事実だ。

## 意外の連続

三年五組 江上 楓青

「雨が降る」そう言われていた遠足は汗をかきながら歩くほど暑い日になりました。

三年生になり本格的に受験勉強へ力を注ぐようとしている時、上手くりズムに乗れずストレスや焦りを感じるそんな中で遠足はいりフレッシュになったのではないかと感じました。実際みんなすごく楽しんでたし修学旅行以来の学年での外出は特別なものになったのではないかと思います。

そんな中、僕が印象に残っていることは先生達の新たな一面を見たことです。普段大人しそうにしている先生が絶叫アトラクションが好きで生徒たちと乗っていたり、そんなふうに見えない先生が高所恐怖症だったり生徒だけでなく先生たちの意外な一面を見る貴重な時間でした。

学校の中でしか関わることない先生たちと遊園地という楽しい場に関われたことはとても新鮮で楽しかったです。

一日の間に様々な思い出が出来てとても濃い日になり、素晴らしい思い出になったと思います。



昨年度の進路結果と進路行事について

進路指導部

三七回生は、大学・短大への進学が一五四名、専門学校への進学が三四名、就職者が六名、進学準備者などが三名となりました。その中で、国公立大学には十名合格しました。内訳は三重大学に二名、山梨大学、島根大学、北見工業大学、群馬県立女子大学、神戸市外国語大学、高知県立大学、高知工科大学、三重短期大学に一名ずつです。生徒一人ひとりが高い進路目標を立て、努力を続けた結果と言えます。

また、愛知県内の私立大学は、南山大学に一名、愛知大学に十五名、中京大学に二十六名、名城大学に八名、愛知淑徳大学に四十六名、愛知学院大学に三十八名など、主要大学に一定数の合格者を出すことができました。今年度は昨年度までと傾向が変わり、前期試験で概ね結果が出ました。生徒は二月中旬から三月の中期試験や後期試験を受ける覚悟で準備をしていたので、それが功を奏したと思います。

進路指導部では、生徒の進路実現の一助として、様々な行事を企画、運営しています。五月十六日(月)に、国立大学説明会を開催しました。鳥取大学入学センター准教授、森川修様から「地方国公立大学の魅力」をテーマにご講演いただきました。昨年度はコロナ禍のためオンライン開催で、参加

も生徒のみでしたが、今年度は対面で実施することができました。参加者は生徒が約百五十名、保護者が約百四十名と、大変多くの方に参加していただきました。

五月二十五日(水)には、一年生の総合的な探究の時間に、学部学科説明会を開催しました。大学の先生方をお招きし、「大学ではどのようなことが学べるか」についてお話をいただきました。六月十五日(水)には、二年生向けに出前授業を開催しました。生徒は十四の講座に分かれ、その中から興味のある二つの講義を聞きました。生徒が自身の進路について考える機会となりました。二年生は七月にオンラインの進路イベントにも参加します。

六月七日(火)には、二、三年生の看護医療系希望者を対象に説明会を実施しました。看護系の大学として藤田医科大学の先生、医療系の大学として星城大学の先生から、現場での体験談や、高校生のうちにやっておくとよいことなどをお話ししていただきました。

以上のように、様々な行事を企画、運営し、一人ひとりがよりよい進路実現を果たせるよう指導してまいります。今後とも理解と御協力をよろしくお願いたします。

令和 4 年度の人事異動

【転出者・退職者の名簿】

職名	氏名	教科	転任先
事務長	藤戸 佳子		定年退職
教諭	岡戸 文一	保体	愛知県立内海高校
教諭	加藤 和彦	保体	愛知県立刈谷高校
教諭	榊原 啓文	英語	愛知県立半田高校
教諭	後藤 晃宏	理科	神奈川県立多摩高校
養護教諭	白井友紀子		定年退職
再任用教諭	石川 憲夫	国語	退職
再任用教諭	安藤 義弘	地歴	愛知県立知多翔洋高校
再任用教諭	鳥居 宏之	地歴	愛知県立東海南高校
再任用教諭	中山 史信	数学	愛知県立半田東高校
任期付任用教諭	仁科 由梨	英語	愛知県立衣台高校
任期付任用講師	柴田 亜蘭	家庭	あま市立七宝中学校
臨時的任用教諭	井上賢志朗	情報	誉高校

【新転任者の名簿】

職名	氏名	教科	前任地
事務長	鈴木 美季		愛知県立東郷高校
教諭	木下 哲	英語	愛知県立刈谷高校
教諭	吉田 昌平	保体	愛知県立豊田南高校
教諭	寺下 直樹	保体	愛知県立古知野高校
教諭	川瀬 晴乃	国語	愛知県立明和高校
教諭	磯貝 直孝	地歴	愛知県立半田東高校
養護教諭	梶野恵理子		愛知県立鳴海高校
再任用教諭	藤井 稔久	英語	愛知県立阿久比高校
再任用教諭	馬渡 理一	理科	愛知県立東海南高校
臨時的任用教諭	宮田美津子	家庭	愛知県立桃陵高校
臨時的任用講師	舟橋 春香	地歴	愛知県立美和高校
任期付任用講師	相本 真綾	英語	新任
臨時的任用実習助手	杉浦 未妃		継続
非常勤事務職員	西田 隆夫		継続
用務業務員	戸田 真治		継続
用務業務員	山本 大蔵		継続

【非常勤講師】

転出	吉沢 ロコ (国語)	河合 郁 (数学)		
	金井美穂子 (理科)	土田あゆみ (英語)	福岡 紀杏 (英語)	ティモシー・レネイン (NESA)
継続	布野 幹夫 (地歴)	細山 光也 (理科)	間瀬 美月 (体育)	河野 清一 (英語)
	ギブソン優子 (音楽)	平松 伸之 (美術)		
新規	原田 翔一 (地歴)	中川 敦夫 (数学)	馬渡 理一 (理科)	相本 真綾 (英語)
	鈴木 晴恵 (情報)	グレン・パーソンズ (NESA)		

# 令和4年度 部活動試合結果

(4月 愛知県高校総体知多支部予選～5月)

陸上競技 男子	学校対抗 総合4位、トラックの部7位、フィールドの部2位 1位 走高跳 深谷 2位 5000m 上田、走高跳・3段跳 酒井、円盤投 杉田 3位 800m 近藤、4×100mR 越・中園・林・丹羽、やり投 山田(幸) 4位 1500m 上田、走幅跳 深谷、やり投 高畑 5位 三段跳 越 6位 3000mSC 村田、走高跳 成田、三段跳 深谷、ハンマー投 山田(拓)、100m 佐野	15種目 県大会出場
バスケットボール 男子	1回戦 ●53-63 大府	
バスケットボール 女子	1回戦 ●32-92 知多翔洋	
バレーボール 男子	1回戦 ○2-0 阿久比、2回戦 2-1 半田工科 決勝リーグ ●0-2 半田東、●1-2 東浦、●0-2 東海南 (第3位)	
バレーボール 女子	1回戦 ●0-2 常滑	
ソフトテニス 男子	団体 1回戦 0-3 半田東、2回戦 1-2 常滑 予選ブロック3位 個人 坂・渡邊ペア、野村・山口ペア、日美・石田ペア ベスト32	
卓球 男子	団体 1回戦 ●0-3 横須賀 シングルス ベスト16 作田、4回戦 岩瀬、斎藤、3回戦 森、藤井 2回戦 村田、山田、大武、加藤、古田、大友 ダブルス ベスト16 作田・斎藤、岩瀬・森	
卓球 女子	団体 1回戦 ○3-0 半田東、2回戦 ●1-3 横須賀 シングルス 3回戦 神本、2回戦 加藤、1回戦 稲森、深谷、蜷川、新實 ダブルス ベスト16 近藤・岡村、2回戦 神本・深谷	
弓道 男子	団体 予選敗退	
弓道 女子	団体 予選敗退	
剣道 男子	団体 予選リーグ ×-○ 半田商、○-× 半田東、×-○ 阿久比 予選リーグ敗退 個人 赤嶺(2回戦)、坂野(1回戦)、伊藤(2回戦)、平石(2回戦)	
剣道 女子	団体 予選リーグ ×-○ 知多翔洋、×-○ 半田商業 予選リーグ敗退 個人 伊藤(2回戦)、金田(2回戦)、北川(1回戦)、小田(2回戦)	
バドミントン 男子	団体 ●2-3 中村 個人 シングルス ベスト16 野島 個人 シングルス ベスト64 加藤	県大会出場
バドミントン 女子	団体 1回戦 ○3-2 天白、2回戦 ●0-3 阿久比 個人 ダブルス 相羽・加藤 ベスト32 個人 シングルス 相羽 ベスト16 個人 シングルス 加藤 ベスト64	県大会出場 県大会出場
ハンドボール 男子	1回戦 ●12-21 東海南	
ハンドボール 女子	1回戦 ●7-15 横須賀	
サッカー	準決勝リーグ ○1-0 常滑、○1-0 半田工科、○8-0 知多翔洋 決勝 ○3-0 半田東 支部予選優勝 〈県大会〉 1回戦 ○1-0 一宮、2回戦 ●0-4 名古屋	県大会出場 県大会ベスト32



会 計	書 記	副 会 長	会 長
野 村 泰 輔	大 橋 拓 真	永 田 真 由 奈	深 谷 祐 琉
		柴 田 麻 椰 奈	奥 田 百 香

**令和4年度  
前期生徒会  
役員紹介**